




## ～ 6年 命の学習 ～

先日、助産師の佐野藍先生をお招きし、6年生を対象に「命の学習」を行いました。講師の先生には「性と生」と題して、助産師の仕事、おなかの中の赤ちゃん、お産の話などをさせていただきました。


授業では、お腹の中で赤ちゃんが育つ様子や、奇跡的な確率で命が誕生することを、模型やスライドを使って分かりやすく教えていただきました。また、妊婦さんの体験をさせていただいたり、自分の心と体を守るということについても教えていただきました。自分や周りの友だちの命を、かけがえのないものとして大切にすることを育む貴重な時間となりました。ご家庭でもぜひ、お子様が生まれた時のエピソードなどを話題にしてみてください。

子どもたちの学習後の感想を紹介します。

【2/19(木)「命の学習後、感想文より】

- 
- ◆体のことも、人間関係のことも、ちゃんと教えてくれて、知れてよかったな—と思いました。さのさんの説明がとても分かりやすく、体のことをもっと知りたいと思いました。
  - ◆初めて助産師さんの話を聞いて、命が大切なんだとあらためて知りました。赤ちゃんの人形が思ったよりも重かったです。
  - ◆私は、命の学習をして赤ちゃんがとても重くて、にんぷさん(世の中のママさん)は、とてもすごいなって思いました。そして、友だちがいやなことをしてきたとき「NO!」「ダメ!」としっかり言おうと思いました。
  - ◆話を聞いて、おたがいに許せることや無理なことは、私も悩んでいたことだったので、心にひびきました。みんな価値観がちがうので、大切にしたいと思いました。
  - ◆赤ちゃんのお人形をだっこして、けっこう重いなと思いました。わたしが大人になったら、この命の学習を思い出して、せいっぱいがんばろうと思いました。
  - ◆今日、初めて知っておどろいたことは、赤ちゃんのだっこは、とてもだいじなんだなと思いました。とくに、首を支えてあげたら、赤ちゃんは楽になると思いました。
  - ◆ぼくが知ったことは、産むときにがんばるのは、お母さんだけじゃなくて、赤ちゃんもがんばっているということです。
  - ◆私は、今回のお話はとてもいい経験になったと思います。いやなことは、いや(NO)と言っていい。ちゃんと自分から相手の気持ちも聞かないとダメ。このことを大人になるまで覚えておきます。



- 
- ◆私は、この話を聞いて、人の体にもいろいろな権利がたくさんあることや、いやな事はいやと言っていいという話はとてもためになりました。これからもこの学習を生かしていきたいです。
  - ◆今日の勉強を通して、「命」というものは、とても尊い存在で、自分がいやなことがあったら、しっかり「いや」と「いいよ」が言える人間になりたいなと思いました。そして「いや」だけでなく、聞いてみるということも大切にしたいです。助産師さん、今日はありがとうございました。